



一人は万人のために、  
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります

# ふくしま



発行所  
福島医療生協

# 医療生協

2018年7・8月号 第393号  
発行責任者 渡辺 幸夫  
<http://watari-hp.jp/>

|                               |                  |           |               |
|-------------------------------|------------------|-----------|---------------|
| 福島医療生活協同組合                    | TEL 024-522-1236 | 〒960-8141 | 福島市渡利字中江町66番地 |
| 医療生協わたり病院                     | TEL 024-521-2056 | 〒960-8141 | 福島市渡利字中江町34番地 |
| 生協いいの診療所                      | TEL 024-562-4120 | 〒960-1301 | 福島市飯野町字後川27-2 |
| 医療生協わたり病院附属<br>ふれあいクリニックさくらみず | TEL 024-559-2664 | 〒960-0241 | 福島市笹谷字釜谷地20-1 |



新理事長に選任された丹治伸夫わたり病院  
総院長

確認しました。  
そして二〇一八年  
度の重点課題は、以  
下の活動が提案され  
ました。  
事業計画として①  
医療生協の事業と運  
動を担う後継者の確  
保と養成(最重点は

震災・原発事故から丸七年  
がたったものの、事故の収束  
には程遠い現状であり、安倍  
政権のもと、憲法改悪の動き  
や格差の拡大と孤立・貧困が  
進んでいます。社会保障も医

療介護サービスの縮小が進  
んでいます。そのような現状  
の中、今総代会では、この間  
の私たちの運動と事業の前  
進を、組合員・職員が一丸と  
なつて奮闘してきたことを

福島医療生活協同組合第五十二回通常総代会が、六  
月二十三日(土)コリスセふくしまにおいて、総代出席数  
百七十二名、委任三十二名、書面議決十九名、計二百一  
十三名により開催されました。議案は全て承認され、新  
役員が選任されました。今総代会は平和と憲法を守る  
活動、安心して暮らせるまちづくりの活動などを、さら  
に強く進めていくことを確認した総代会となりました。

## 第52回

# 通常総代会開催

「健康をつくる・平和をつくる・いのち輝く  
社会をつくる」運動に取り組みましょう。



医師研修成功・医師体制確  
立、看護師確保)。②大規模  
投資を可能とする経営基盤  
の構築。③病院の増改築計  
画の具体化推進、病院北棟  
耐震補強工事先行実施。④  
在宅医療介護、地域包括ケ  
アの事業展開。⑤組合員・住  
民に寄り添い、信頼される医  
療介護活動。

組合員活動として①安心  
して暮らし続けられるまち  
づくり②地域まるごと健康  
づくり③社会保障と平和を  
守る(特に憲法九条を守る)  
活動④そしてそれらを実践  
するため地域で役割を発揮  
できる組織づくりです。

多くの総代からの積極  
な討議があり、議案は全て全  
会一致で採決されました。組  
合員も職員も福島医療生協  
の未来について熱く議論を  
交わしました。理事も新た  
に選任されました。(二ペー  
ジ参照)

## 総代会終了後、街中で9条改憲NO! スタンディングアピールをしました。



## 第52回通常総代会決議

1. 憲法改悪に反対し平和と暮らしを守る運動に、幅広い団体との共同を広げながら取り組みましょう。
2. 組合員のネットワークを生かして、医師・看護師の紹介活動を強めるとともに、職員・組合員の知恵と力を合わせて、経営基盤の強化をすすめましょう。
3. 安心して暮らし続けられるまちづくりに向けて、組合員をふやし、機関紙配布・班・サークルなどのしきみを強化し、学び合い・支え合いの活動を広げるとともに、地域の諸団体との連携を広げましょう。
4. 健康診断と健康チェック、健康チャレンジや禁煙ポスターコンクールなどの取り組みを通して、地域まるごと健康づくりをすすめましょう。
5. 私たちの活動を広く知らせ、新たな層・幅広い年代の要求に沿った取り組みをすすめる中で組合員の活動参加を広げ、一人ひとりに合った形で活動を担う組合員をふやしましょう。
6. 支部運営委員会の体制を強化し、安心して暮らせるまちづくりを推進する支部をつくりましょう。



6～10月までが福島市市民健診受診期間です。  
ご予約いただき、お早目にご受診ください。





# 第五十二回通常総代会での発言

参加された総代さんからは多くの発言がありました。



あづま支部 今野幸廣さん

支部役員を各班から出してもらい、支部、班や地域のことが話され活動が楽しくなってきました。西地域に福島医療生協の事業所があると良いです。



清水北支部 山内マサ子さん

支部での活動を活発にするためにも、マイクロバスを買ってください。募金活動も検討してはどうでしょうか。



吉井田支部 佐藤好和さん

来年は福島医療生協50周年という事だが、進み具合はどうなってるんだい。有名な歌手とか呼ぶのかい。—実行委員会を立ち上げ協議をすすめています。(渡辺専務)



南3階病棟看護師 安齋貴子さん

インフルエンザの大流行によって入院受け入れを制限しました。院内では様々な対策を話し合い実施しました。感染を防ぐためには、職員はもちろん、ボランティアスタッフの方々を初めとする組合員の皆様のご協力が不可欠です。ご協力をお願いいたします。



蓬萊支部 相沢恵久子さん

「わいわいクラブ」頑張っています。子どもたちから支部全体が元気もらっています。「おばちゃん」と地域内でも声をかけられます。



飯坂支部 佐藤仁子さん

今まで申し込んでもできなかった学習センターの文化祭での健康チェックを、昨年今年と先方から依頼されて行うようになりました。行政側の変化に驚いたり喜んだりしました。

「くらし丸ごと」に向き合える訪問看護ステーションをめざしています。認知症でデイサービスなどを拒否していたYさんのために、民生委員や包括、長寿福祉課職員などを含めた関係者と「Yちゃんカフェ」と称して話し合いを行いました。その甲斐あってYさんは一人暮らしを続けることができました。



訪問看護やまなみステーション 加藤仁美さん



松川支部 國津トミ子さん

みなさん、市民健診で肝炎ウィルスの検査を必ず一回は受けましょう。

わたり病院周りの除草やリフォームをしてはどうか。



松川支部 佐久間金吾さん



放射線科放射線技師 大橋 学さん

乳癌検診の装置を新しくしました。男性5人の放射線技師で頑張っていますが、女性技師を希望される方も少なくありません。お知り合いの方など放射線技師の情報がありましたら、ぜひご紹介ください。



北3階病棟看護師 菅野かづえさん

看護師不足で、入院ベッドを抑えざるをえない状況です。奨学金増額、高校生一日体験、復職セミナーなどで来年度以降入職見込みの方が少し増えています。看護師や看護学生のご紹介やパンフ配布のご協力をお願いいたします。



## 受賞されたみなさん、おめでとうございます。

### 支部表彰

#### ○優良賞 渡利、南向台、大笹生笹谷、川俣、保原

運営委員会を10回以上開催し、全国4課題のうちいずれか2つ以上を達成している支部(①組合員ふやしの年度目標 ②出資金ふやしの年度目標 ③5人以上または年度当初の3分の1以上の担い手ふやし ④3班以上の新班結成)

#### ○奨励賞 蓬萊支部

表彰理由/蓬萊わいわいクラブの活動を、幅広い連携の中で前進させ、支部活動を活性化させるとともに、福島医療生協の存在と活動を広く地域に知らせ生協活動の発展に貢献した。

### 班表彰

#### ○優良賞

①年に5回以上班会を開催し、組合員を10人以上または年度当初の班員数以上ふやし、社会保障活動にも努力している班。

渡利[さくら]、もちずり[オーロラ]、中央[若葉]、平野余目[キャッツA]、大笹生笹谷[横堀]、川俣[古組]

②10回以上の班会開催を2年間以上継続している班。

渡利[ココ]、南向台[あじさい]、南向台[さつき]、平野余目[ほほえみ]、あづま[あづま]、あづま[ひめさゆり]、川俣[やよい]、霊山[阿久津]、川西[いろは]

#### ○奨励賞 あづま支部あじさい班

表彰理由/地域を包括支援センターや町内会と連携しながら、いきいきもろり体操に取り組むなど、組合員だけでなく広く地域住民を対象として健康づくりや安心して暮らせるまちづくりを推進し、支部活動の前進に貢献した。

## 第26期理事名簿

|      |           |    |            |
|------|-----------|----|------------|
| 理事長  | 丹治 伸夫 (現) | 理事 | 治田 幸子 (現)  |
| 副理事長 | 伊藤 敏寛 (現) | 理事 | 高橋 重雄 (現)  |
| 副理事長 | 斎藤 和衛 (現) | 理事 | 橘 夫紀子 (新)  |
| 専務理事 | 渡辺 幸夫 (現) | 理事 | 谷野 通子 (新)  |
| 常任理事 | 安増 秀夫 (現) | 理事 | 田村 義雄 (現)  |
| 常任理事 | 遠藤 剛 (現)  | 理事 | 丹野 博夫 (現)  |
| 常任理事 | 佐藤 克行 (現) | 理事 | 西坂 稔 (現)   |
| 常任理事 | 庄司 三法 (現) | 理事 | 長谷川重範 (現)  |
| 常任理事 | 山口 裕 (現)  | 理事 | 平中 廣治 (新)  |
| 常任理事 | 八谷美知子 (現) | 理事 | 松崎 和幸 (新)  |
| 理事   | 飯盛マサ子 (現) | 理事 | 安田 政彦 (現)  |
| 理事   | 岩渕 好位 (現) | 監事 | 加藤 衛男 (現)  |
| 理事   | 紺頼 純子 (現) | 監事 | 佐々木恵美子 (現) |
| 理事   | 斎藤 章衛 (現) | 監事 | 佐藤 輝道 (現)  |
| 理事   | 佐々木幹雄 (現) | 監事 | 竹之内 長 (新)  |
| 理事   | 佐藤あい子 (現) |    |            |

## 退任の役員

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 理事長 | 齋藤 直哉 | 理事 | 渡辺 芳子 |
| 理事  | 阿部ツギ子 | 監事 | 那須 稔雄 |
| 理事  | 若狭百合子 |    |       |





六月二日、第十五回わたりげんきまつりが花見山駐車場で盛大に開催されました。渡利地域で営業する医療・介護・障害の十二事業所（昨年より二事業所が増加）と渡利・南向台支部による実行委員会の主催でした。また、いちい渡利店さんをはじめ、地域の多くの事業所さん

## わたりげんきまつり

からご協力・協賛をいただきました。

当日は晴天にも恵まれ、スタッフを含め約八百名の参加者が一体となって元気に盛り上がりしました。

十五回記念企画として、渡利中学校美術部の皆さんにご協力いただき、参加者のメッセージによる大きな壁画作りを行い、子どもたちに好評でした。

ステージ企画は、南高校吹奏楽部、成蹊高校ギター部、オカリナアンサンブル、さくら保育園和太鼓、渡利小学校合唱部と、子どもから大人まで素敵な音色を響かせました。

また演奏の合間には、それぞれの事業所PRを行いました。



した。わたり病院は寸劇をまじえ、会場の笑いを誘いました。

バザーにはお祭りが始まる前から大行列。またそれぞれの出店も盛況でした。渡利南向台支部はカレー汁、わたり病院は栄養科のバツクアップで玉コン、煮卵、飲み物を販売し、完売しました。

恒例の抽選会に加えて、お菓子まきも大人気でした。

文字通り渡利地域のお祭りとして、たくさん笑顔にあふれた一日でした。



保原支部姫班では行政等の出前講座を利用して楽しい活動をしています。「あちらの世界への行き方の生き方」なんていう終活に関することも。

保原支部 氏家良子さん

消費税10%の動きがある。それに反対する項目を方針に入れてほしい。—今後の方針としてとりくんでいきます(渡辺専務)



平野余目支部 森谷 精さん



あづま支部  
柳沼伸治さん

「医療・福祉の難民にはなりたくない」という組合員の要望と、職員の業務が一体にならなければならないが、その関係が薄れてきているように感じる。ぜひ、職員のきめ細かな対応と、それを支え「わたり病院に行こうよ」という組合員の動きを作ることが大事だと思います。

新旧理事長の挨拶は次号に掲載いたします。



六月三日(日)九回目の「ほつらいつい地区福祉まつり」が開催されました。主催は、蓬萊地区で活動している医療・福祉事業所と

## 「ほつらいつい地区福祉まつり」にきかじまつりだ

福島市社会福祉協議会蓬萊協議会、蓬萊方部民生委員協議会、福島市健康推課・食生活改善推進協議会で結成された実行委員会です。今年のテーマは、「知る」「考える」「支え合う」。福島医療生協蓬萊支部も実行委員会の一員として参加しました。

特別講演はもとより、蓬萊地区で活動する各事業所はそれぞれのブースで、得意分野での参加や物品の販売、ゲームコーナーをおして、子どもから高齢者までが楽しめる工夫がなされ、蓬萊中学校からは器楽部の演奏、



## 国民平和大行進

六月二十五日、わたり病院をスタートし、蓬萊、松川経由で二本松までの国民平和大行進を行いました。組合員、職員も多数参加しました。

## 原水爆禁止二〇一八 広島世界大会代表者決定

今年も原水爆禁止二〇一八世界大会が八月に行なわれます。今年のテーマは、「核兵器のない平和で公平な世界のために」です。昨年七月七日に核兵器禁止条約が採択され、人類史上はじめて核兵器が明文上でも違法化されました。

この禁止条約を力に、新たな運動の飛躍を作り出す歴史的な大会です。

この世界大会に「核兵器のない平和で公平な世界」の思い

を託し、福島医療生協の組合員と職員の代表者を派遣いたします。ぜひ、私たちの平和の願いを届けてもらいましょう。



経理課  
東澤佳子さん



大笹笹谷支部  
大塚 健一さん



## 無料 法律相談会

- 日時 毎月第2木曜日 13:30~15:30  
※日にちは変更になる場合があります。
- 場所／医療生協わたり病院内  
事前申込制 Tel. 024-522-1236
- 相談員／あぶくま法律事務所弁護士

蓬萊児童センターからは、よさこいの演技「よつちよれ」での参加がありました。また「健康寿命」を延ばしたいという思いから、実行委員会作成の「みんなのほうらい体操」に参加されたみんなで楽しみました。

(蓬萊支部 白鳥クニ子)



## 今年もそうめんを販売します!

2018年度組合員活動資金のため、『島原手延そうめん』を組合員特別価格で販売いたします。50g×36束4,200円を組合員特別価格2,900円とします。ご贈答用としても最適。お申し込みはお知り合いの支部運営委員さんか班長さん、または組合員活動部(522-1236)まで



大笹生笹谷支部みどり班は二〇〇六年七月からスタートしました。最初は四人から始まりましたが、今ではメンバーは八人に増え、人数が増えた分さらに賑やかに楽しく活動しています。

「みどり班」という班名は、色々考え、いくつか候補をあげていた時に、緑色の葉っぱを見て決定しました。さわやかな印象をつける班名です。

班会は班長さん宅で月に一回開催します。内容は様々です。健康についての話で盛り上がり、料理をみんなで持ち寄りたりもします。

今年の四月には飯坂へお花見に行きました。「はなゆまち」でお昼を食べ、温泉に浸かっているのんびりと過ごしました。

五月は研修医の先生に来てもらい血圧や体組成計、骨密度の測定と健康相談をしました。市民健診が始まったので、これから班の皆と受診に行きます。

健康に気を付けながら、これからも楽しい班会を続けていきたいと思っています。



班を始めて十二年、さらに賑やかになりました

大笹生  
笹谷支部  
みどり班

## 診療放射線技師募集



担当までお問い合わせください。  
024-522-1236 担当: 町田

## INFORMATION

### これからの行事

#### 原水爆禁止2018年世界大会

◆日時/8月3日(金)~6日(月)  
◆場所/広島市

#### こども病院たんけん隊

◆日時/8月10日(金) 13:30~15:30  
◆場所/わたり病院

#### 第25回蓬莱健康まつり

◆日時/8月26日(日) 9:30~13:00  
◆場所/蓬莱学習センター分館

#### 福島県九条の会講演会

◆日時/9月9日(日) 13:30~16:30  
◆場所/福島県教育会館大ホール

#### 第31回福島県高齢者大会

◆日時/9月13日(木) 10:00~  
◆場所/喜多方プラザ文化センター小ホール

#### 第13回いいの川俣健康まつり

◆日時/9月22日(土)  
◆場所/生協いいの診療所

●お問合せ  
福島医療生協組合員活動部  
Tel.024-522-1236

### 社会福祉法人わたり福祉会

## 介護職員初任者研修受講生募集中!

研修期間/9月8日(土)~11月24日(土) ※土・日・祝日での研修になります。

研修会場/特別養護老人ホームはなしのぶ他

定員/30名(応募者多数の場合選考あり)

受講料/無料(受講補償金として10,000円預かり、研修修了者には返金します。途中退校した場合、返金は行ないません。)

締切/8月20日(月)

申し込み/法人各施設(はなひらの・はなしのぶ・はなみずき)にて、申込用紙を配布しております。写真(タテ4cm×ヨコ3cm)貼付の上、必要事項を記入し、ご提出ください。

お問合せ先/介護職員初任者研修事務局(はなひらの内)  
Tel.024-542-8755 (担当:高橋、鹿股)

わたり福祉会ホームページにも詳細を掲載しております。 <http://www.watari-fukushikai.jp>

## 仙台陸軍病院飯坂分院跡

蓬莱支部 菅野家弘

日露戦争の傷病兵のため、一九一四年日本初の温泉リハビリ病院が、仙台陸軍病院の分院として飯坂につくられた。第二八・四師団の軍兵を収容。定員は五十名だった。陸軍軍医総監でもあった作家森鷗外も、職務上訪れたらしい。白衣の兵士が軍歌を歌いながら、町をリハビリ行進する姿があったり、近辺の学校からの慰問訪問もあった。箱崎小学校(現伊達市立東小学校の前身)は、日中戦争がはじまった一九三七年十二月、全校で訪問し、傷病兵の前に慰問学芸会を丸一日行っている(同校「沿革誌」)。



今は更地になっている。

年には県立医大の飯坂分院にされた。一九六九年福島県立リハビリテーション飯坂温泉病院となったが、二〇〇七年閉鎖され、数年前に取り壊されたという。市の戦跡の一つであった。